



# 一期一会

- 6 -

<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh15/>

## オリンピックから学んだこと

東京オリンピックが7月21日から8月8日まで（開会式は7月23日）の日程で行われ、さまざまな競技で選手たちが全力を尽くす姿に私たちは魅了されました。感動した場面がいくつもあるのですが、その中のひとつは女子バスケットでした。

右の写真を見てください。バスケットは身長が高いことが有利なスポーツですが、162cmの町田選手は小ささを武器にして背の高い選手を抜き去っています。彼女は背が低いという不利な条件があってもそんなことであきらめたりせず、努力を続けてきたに違いありません。皆さんはどうでしょうか。失敗をまわりの環境のせいにして、すぐにあきらめて自分の可能性を狭くしていないでしょうか。

また、この大会は競うばかりではなくアスリート同士が励ましあったり喜びを分かち合ったりするシーンも印象的でした。男子マラソンで2位になった選手はゴール前で後ろの選手を励ましていました。また、走高跳びでは同記録の2人が最後は争わず、2人に金メダルが与えられました。今大会から採用されたスケートボードでは、良い演技には他の国の選手たちも拍手をしたりハグをしたりしてたたえあい喜び合っていました。

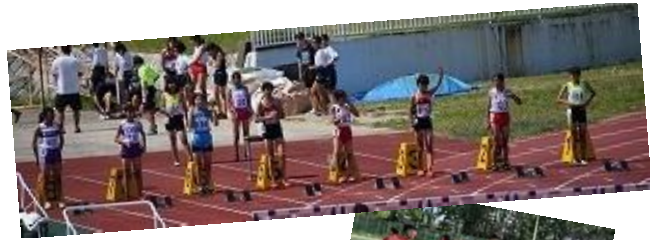
昨日からはパラリンピックが始まりました。パラリンピックに出場する選手たちは、障害があっても自分の可能性を信じて努力を重ねて自分を高めてきた選手たちです。試合のテレビ放送はオリンピックほどされないでしょうが、新聞やWebニュースでもいろんな人の生き方が紹介されると思います。大人だから、優秀なアスリートだから、障害があるから、などと自分との間に線を引かずに中学生なりの目で見、考えて、学んでほしいと思います。

## 十五中生も頑張っていました！

多くの部活動では、3年生の最後の大会が夏休み中に行われました。できるだけたくさん試合を見に行きたかったのですが、すべての試合を見に行くことはできませんでした。行けなかったクラブの人ごめんなさい。少しだけ写真で紹介します。



出典：  
<https://www.yomiuri.co.jp/olympic/2020/>



頑張っているみんなの顔はとても輝いていました。全国大会に出場した人が2人、近畿大会まで進んだ人も何人もいて大変素晴らしい結果を残してくれました。しかし、地区大会で敗れたけれど最後まで全力を尽くした十五中学生の表情も輝かしい結果に負けず劣らず光っていました。オリンピックでは、一人の日本人が毎朝選手のバスが通る道でこんなカードを掲げていて、世界的に「日本人のファンは素晴らしい」と話題になっていたそうです。十五中のみんなにも送りたい言葉です。『Good morning Athletes! Even if you don't get a medal, you are still the BEST!! So believe in yourself! (アスリートの皆さんおはようございます!たとえメダルが取れなかったとしても、あなた達は最高です!だから自分自身を信じて!)』

## デルタ株が流行しています

現在デルタ株という感染力の強い変異種が新規感染者のほとんどを占めているそうです。またコロナウイルスはこれまで子どもはかかりにくいと言われていましたが、このデルタ株は若い人にも感染が広がり症状が出るケースも多いようです。上の図はNHKの報道ですが、この1か月で20歳未満の感染者数が急激に増えています。そのため2学期が始まるとあちこちの学校でクラスターが発生するのではないかと心配されています。今まで中学生は家庭内での感染が多いのですが、これからは子どもが学校内で感染して家庭に持ち帰り、家族に広げるということも起こるのではないかと予想されているのです。



皆さん自身が学校生活の中で感染しないように、また周りに広げないようにこれまで以上に気をつけて生活することが必要です。

- ・ 何かに触った後など、その都度石けんで手を洗うこと
- ・ マスクを外すときは会話をしない（運動時、飲食時）こと
- ・ マスクをしていても近づいての会話はできるだけ避けること
- ・ 発熱や風邪症状がある場合は、登校を見合わせる

デルタ株は感染力が強いので、今までの3密（密集、密接、密閉）ではなく、1つだけの密でも感染してしまう可能性が高いそうです。



ワクチン接種は着々と進んでおり、接種の済んだ高齢者の患者は減っています。また、どんな治療が効果的かわかってきたので、重症になる率も低くなっています。ただ患者数が急速に増えると、入院するためのベッドが足りなくなったり、お医者さんや看護師さんが足りなくなったりして十分な治療を受けられない人が出てきます。また、コロナ以外の病気の治療を受けたい人が受けられなくなったりする状況になりかねません。さらに、ウイルスは人の体内で変異しますから、感染する人が増えると新しい変異種ができる心配も増えるのです。そのような状況にならないために、自分のためだけでなく、みんなができるだけかからないように気をつける必要があるのです。

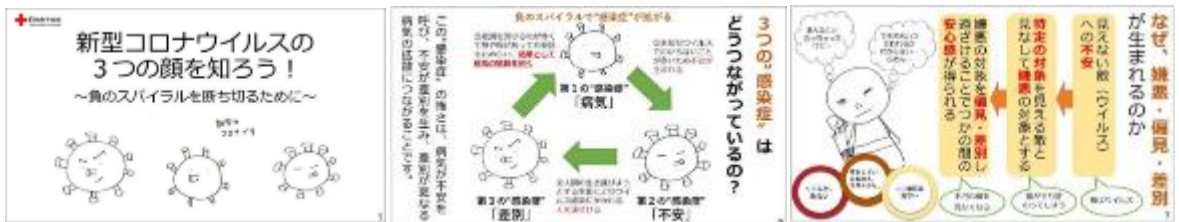
# もしまわりにかかった人がいても

感染力がこれまでよりずっと強いデルタ株ですから、いくら注意をしても感染は起こります。もし自分がかかったら周りの人にはどうしてほしいですか。みんなに自分の病気のことを噂されたくはないですね。もはや感染は珍しいことではなくなっているので、そんな噂をすること自体、かなりカッコ悪いことだと思います。静かにその人の回復を願ってあげてください。

また、これからはワクチンの接種が中学生にも進んでいくと思いますが、ワクチンを受けた、受けていないで人を差別したり、受けない人を非難したりもやめてください。ワクチンを受ける、受けないは全く個人の自由です。

これからはワクチンを接種した人が増えてきて感染はいずれ収束していくものと思われます。しかしそれまではしばらく時間がかかるでしょう。この新型コロナウイルスは、人類にとって共通の手ごわい敵です。ウイルスによって人と人がいがみ合って対立し分断してしまうと、この共通の敵には立ち向かうことができません。みんなて協力、連携すれば、いずれは必ずこのウイルスにも打ち勝てるのです。

1学期に学習したことをもう一度思い出してください。(出典：日本赤十字社)



感染に対する不安な気持ちが他者への攻撃になったり、差別になったりしないように自分の不安な気持ちにもワクチン打っときましょう。



十五中の掲示板に生徒会の素敵なスローガンが掲示してあります。

「～マスクの下には笑顔～」

良いスローガンですね。気持ちに余裕を。

※朝は少し早めに家を出て時間的にも余裕を！  
(特に\*年生頑張ってくださいね)